

パレスチナの今を知る



パレスチナを外部から遮断する延々と続く高い壁



救護活動中に亡くなった
ラザン・アルナッジャーールさん (写真提供 PMRS)

講師



並木麻衣さん

JVC(日本国際ボランティアセンター)
パレスチナ事業担当

イスラエルによる長期の封鎖と銃器による攻撃で、パレスチナの人々は傷つき疲弊し、経済的にもギリギリの生活を強いられています。最近では、NGOの医療ボランティアの若い女性までもが救護活動のさなかに銃撃されて、命を失い、ジャーナリストも攻撃を受けています。

銃弾の飛び交う抗議運動の中で、パレスチナの人々は、私たちに何を訴えようとしているのでしょうか。

2018.10.06(土)

10:00~12:00 二宮町民センター2B

どなたでも参加できます。お気軽にどうぞ